

《発行者》 協同組合 愛知労務協会

富田謙社会保険労務士事務所 所長 富田 謙

■住所

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須四丁目11番39号 川本ビル4階

TEL 052-261-2611 URL <http://www.tomiken.org>

FAX 052-261-2612



目次

1. 改正情報

2. 労務管理の基礎知識

3. 所長コラム

1. 改正情報

■ 70歳までの継続雇用制度の概要案が公表に

令和元年5月15日に第27回未来投資会議が行われ、全世代型社会保障における高齢者雇用促進及び中途採用・経験者採用促進や、成長戦略総論の論点について議論が行われました。その中で、特に注目を集めたのが『高齢者の雇用促進』です。高齢者雇用に関しては、平成30年11月26日の未来投資会議でいくつか方向性が示されていましたが、今回の会議でその具体的な内容が示されました。

示された内容は、65歳から70歳までの就業機会確保について多様な選択肢を法制度上許容し、そのうちどのような選択肢を用意するか労使で話し合う仕組み、また、個人にどの選択肢を適用するか、企業が個人と相談し、選択ができるような仕組みを検討する必要があるとしています。法制度上許容する選択肢のイメージとしては、次のようなものが示されています。

- ① 定年廃止
- ② 70歳までの定年延長
- ③ 継続雇用制度導入（現行65歳までの制度と同様、子会社・関連会社での継続雇用を含む）
- ④ 他の企業（子会社・関連会社以外の企業）への再就職の実現
- ⑤ 個人とのフリーランス契約への資金提供
- ⑥ 個人の起業支援
- ⑦ 個人の社会貢献活動参加への資金提供

70歳までの就業機会の確保を円滑に進めるためには、法制について二段階に分け、まず、第一段階の法制の整備を図ることが適切であるとし、第一段階の法制については、上記の①～⑦といった選択肢を明示した上で、70歳までの雇用確保の努力規定とするといった内容が示されています。そして、その動向などを踏まえ、第二段階として、多様な選択肢のいずれかについて、現行法のような企業名公表による担保（いわゆる義務化）のための法改正を検討するとしています。

これらの内容は、今夏に政府が取りまとめる成長戦略の実行計画に盛り込まれ、早期の法整備が目指されていますので、今後の動向に注目です。

2. 労務管理の基礎知識

■ 短時間労働者（パートタイム労働者）

⑨ 相談のための体制の整備

事業主は、短時間労働者からの相談に応じ、また、適切に対応するために必要な体制（苦情を含めた相談に応じる窓口等の体制）を整備しなければなりません。なお、この相談窓口については、雇入れ時の文書等による明示が必要なほか、事業所内の短時間労働者が通常目に行きやすい場所に設置されている掲示板への掲示等により、短時間労働者に周知することが望まれています。

⑩ 短時間雇用管理者

パートタイム労働法では、常時10人以上の短時間労働者を雇用する事業所ごとに『短時間雇用管理者』を選任するように努めなければならないと定めています。この短時間雇用管理者は、短時間労働者の適正な労働条件の確保及び雇用管理の改善等に関する事項を管理することになりますので、パートタイム労働指針に定める事項等の短時間労働者の雇用管理の改善等に必要な知識及び経験を有していると認められる者のうちから選任する必要があります。

なお、選任した場合は、都道府県労働局雇用環境・均等部（室）に選任届を提出することとされており、また、事業所の見やすいところにその氏名を掲示するなどにより、パートタイム労働者に周知するように努めることとされています。

3. 所長コラム

■ 憲法を知らない国会議員



日本国憲法第9条は『戦争の放棄』を掲げており、国会議員はこの憲法を尊重し擁護する義務がある。酒を飲んで酔っ払った末の不祥事だというのが、国会議員としての自覚があまりにも足りない。

北方領土の国後島を訪問した日本維新の会の丸山穂高衆議院議員が、「戦争で取られた島は戦争で取り返すしかない」という趣旨の発言。ロシアの国際問題委員長は「最悪の発言」と批判した。酔っていたとはいえ、核保有国相手に戦争しかけて北方領土だけ帰ってくるとかどういふシナリオが頭にあるのか？一回始めたらどっかが焼け野原になるまで終わらないのが戦争。この知能でアナリスト気取って本当にお話にならない。丸山議員の想定するロシアとの戦争に「負けた場合」領土の一部、または全部がロシアに占領されることが考えられる。日本がプーチンの支配下に置かれ、プーチンや占領行政を批判する者には不審死が待っている。想像するだけでも恐ろしい。

そもそも丸山議員は、日本国憲法を読んだことがない国会議員としか思えない。東京大学経済学部卒業、経済産業省に入省、その後国会議員に転身と言う立身出世そのものの人物、しかし全く国会議員の資質に欠ける。僕らが酒飲んで「戦争しなきゃ北方領土帰って来ないんじゃないの？」とは次元の違う話。大丈夫か日本。